



編集・発行 邑楽町役場企画課  
〒 370-0692(住所記入不要)  
☎ 0276-88-5511(代表)  
☎ 0276-47-5007(企画課直通)  
☎ 0276-89-0136  
https://www.town.ora.gunma.jp  
mailto:koho@swan.town.ora.gunma.jp

おうちお知らせメール  
配信を希望する人は、右のQRコード  
から、ご登録をお願いします。  
☎http://cc9.easypocket.jp/RT-17/g/PC  
☎http://cc9.easypocket.jp/k/ (携帯電話)



QRコード (PC)



(携帯電話)

若い人たちに語り継ぎたい、  
次の世代に残しておきたい。  
貴重な話をお届けしますー。

## あすへひとこと

いつの時代までも残したい

### 邑楽町の昔ばなし



秋妻地内を東から西に流れる川。地域の人たちからは逆川と呼ばれているそうです。現在も川底が見えるくらい、流れる水は透き通っています

### 川と生活

私の住んでいる所は、矢場川へ逆川が流れ込んでおり、昭和十三、四年ころまでは川の水は実にきれいで、川藻がいっぱい繁殖し川底まで透き通っていました。逆川の水は「かくらんの薬になる」といって一升びんを持ってきて汲んでいく者もいました。

川にはタナゴやメダカはどこにでも見られ、夏の夜は何匹ものホタルが家の中へ飛び込んで来て、急いで電気を消してしばし楽しんだこともありました。

小学生のときは置き針をやった記憶があります。置き針というのは、中指ぐらいの篠竹を長さ1.2mぐらいに切り、長さ60cmぐらいの水糸をしばり付け、水糸の先にやや大きめの釣り針を付け、太目のウタウタミミズを餌に付けたものを、7、8m置きに20本ぐらい川岸に刺し込んでおきます。

翌朝まだ薄暗いうちに引き上げるのですが、ウナギ、ナマズ、たまにはコイやフナが引っ掛かっていることもあり、そのときは大声です。ギギユウという、ナマズに似たのが掛かることもありすが、これは食べられず、つかむと刺され、憎たらしいやつでした。

全然捕れないときもありますが、4、

5匹は捕れます。元気のいいのは桶に飼って置き、たまると天ぷらや唐揚げにして食べます。「海腹、川背」といって海の魚は腹から、川の魚は背から割くといわれますが、子どもだから包丁は使えず、切出しナイフで割いたものです。

学校から帰ると、こじはんを食べますが、にぎり飯がない場合は、ジャガイモをふかしたものに、塩押し漬のナスかキュウリを手に、走りながら子ども用の草刈かごを背負って草刈り。刈った草は、馬、ウサギなどに与える。これが子どもの日課だったことを思い出します。

### こじはんなどの思い出

昭和の初期の頃は、お茶菓子といえは、梅干しに砂糖をかけたものが主でした。いうまでもなく味は酸味が強く素朴です。

子どもの頃のおやつや、こじはんといえは何ととっても米飯のおむすびが代表格でした。塩むすび、味噌むすび。他にも、夏はジャガイモ、秋はサツマイモをふかしてもらって食べるのが、とにかく楽しかったです。家族が多いので、丸い竹しようぎ一杯にふかしても、あつという間に平らげてしまったものでした。  
※こじはん…三食の間に食べる食事。間食のこと。

【発行】邑楽町老人クラブ連合会 【編集】あすへひとこと編集委員会

(平成13年11月11日発行「邑楽町のくらしとたべもの(第七集)あすへひとこと」)より



早朝の公園  
(多々良沼公園)



Photo 高根澤高明(記録ボランティア)

### ひとりごと From editors

▶今年の成人式典は初めて邑の森ホールで行われる式典となりました。既に7年前に成人式典を終えている私ですが、自分が出ていた成人式典を今度は自分たちの手で運営させることになるとは思ってもみませんでした。ホールで式典を迎えられた今年の新成人は本当に幸せだと思ひ、成人を迎えられた喜びに、はしゃぐ新成人の姿をうらやましく眺めていました。▶今年の成人式典の特集ページは町制施行50周年ということもあり、例年よりも多くの新成人の声が聞こえるような記事になっています。取材をした広報委員たちも、誰に声をかけようか迷ってしまうくらい今年の新成人たちの色は明るく濃かったなと感じていました。皆さんの未来もきっと明るいですね。(木村)